

保育理念	大事な時期だからこそしっかり育てたい	本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿”の積極的活用</li> <li>・保育・教育に携わる職員が子ども達と共に学び、成長する組織を目指す</li> <li>・卒園児・卒園児家庭を含めた地域支援及び、貢献活動の継続</li> </ul>
------	--------------------	----------	--

	項目	内容	目標・計画	今年度の状況と課題	来年度の目標
1	事業	就学前の子どもに関する教育・保育 子育て支援及び地域子育て支援事業 病児保育事業 特別支援児の教育・保育 小学校との連携及び就学児支援 地域貢献活動	生き抜く力の基礎を持つ 充実した子育て環境の構築 保護者の子育てと就労の両立支援 特別支援教育サポート事業の実施 円滑な接続に向けた工夫 地域行事へ参加し園への理解を深める	保育・教育計画の評価・改善を繰り返す、保育理念を達成するために取り組むことが出来た。保護者の心情に寄り添い、園全体でのサポート体制や連携を大切にしていく	保育内容について基礎をしっかりと固め、評価、改善を繰り返し、適切な保育を提供する事に努める。子育てと就労の両立、子育て支援の在り方など新たな取り組みを進め、地域への貢献活動にもつなげていく。
2	事業を支える分野別取組み	運営：運営規程、健康管理、虐待防止他 教育・保育：環境設定、食事提供他 支援：保護者支援、特別・地域支援他 連携：保幼小連携、地域や専門機関等	保幼小連携について園児のみならず保護者を巻き込んだ活動の推進 支援児の保育環境を豊かにするための専門機関からの指導	地域子育て支援の拠点として、どのような支援が必要なのか具体的な支援策の情報やニーズの集約を進めていく	保護者支援の計画、新たな取り組みを計画遂行するとともに、どのような支援が必要なのか情報収集し、計画に反映していく。
3	職員自己点検	教育・保育 子どもとの関わり 子育て支援 職員連携 自身について	職員の専門性を高めるために、外部への研修も含め多くの研修に参加する 日常的に職員同士が保育教諭の質の向上を目指して話し合う	子どもとの関りや子育て支援においては大きな意識の向上が見られたが、職員間での連携や自身について積極的な意見の発信がやや意識が低い傾向にある。	内部研修や話し合いを通して自身の求められている立場や役割を理解し、職員同士で切磋琢磨し、意見を発信しやすい環境を整えていく

総評	今年度の状況と課題	来年度の目標	来年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿”の積極的活用</li> <li>・保育・教育に携わる職員が子ども達と共に学び、成長する組織を目指す</li> <li>・地域の子育て支援の新たな場の提供と支援の確立</li> </ul>
	保育・教育計画の評価、改善を繰り返すことで子どもの最善の利益を考え保育を進めることが出来た	最善の方法を取り入れた保育環境の構成をすることで保育の質を高めていく。子育て支援の新たな取り組みを確立していく。		

